関西ベンチャー学会 第 22 回 年次大会

『データ活用による新規事業開拓の可能性』

≪大阪。関西万博の開催を飛躍のチャンスに≪

今年の年次大会では、2025年に開催される大阪・関西万博「いのち輝く未来社会のデザイン」を、健康・医療をはじめ、カーボンニュートラルやデジタル化などの新規事業開拓のチャンスとして捉え、データ活用をキーワードに関西経済を高度化・活性化させるベンチャー企業への期待や、可能性について討議いたします。



キーノートスピーチ (13:10-14:10)

テーマ:「プロアシストの起業と経営

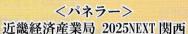
~データ活用による新規事業開拓と関西経済の発展」

代表取締役社長 生駒 京子 氏(関西経済同友会代表幹事)

パネルディスカッション(14:20-15:50)

テーマ:「未来社会のデザインとデータ活用による関西経済のリノベーション」

<パネラー> Flora(株) CEO アンナ・クレシェンコ 氏



<パネラー> さくらインターネット (株) <コーディネーター> 東京理科大学 教授 柿原 正郎 氏









関西ベンチャー学会

さだとう 関西ベンチャー学会会長・大阪学院大学教授 定藤 繁樹

主催:関西ベンチャー学会

後援:近畿経済産業局、大阪府、兵庫県、公益社団法人関西経済連合会、一般社団法人関西経済同友会、

大阪商工会議所、日本政策金融公庫、日本経済新聞社大阪本社、毎日新聞社、日刊工業新聞社、

公益社団法人関西ニュービジネス協議会、一般社団法人日本ベンチャー学会、

関西学院大学イノベーションシステム研究センター、関西ベンチャー研究会ネットワーク(神戸・大阪・北摂・京都)、

非営利コンソーシアム Japan America Business Initiatives(JABI) (順不同)

2023年 3月 11日 生 12:30- 受付開始 13:00- 開会

会場:武庫川女子大学 公江記念館 地下ホール

原則対面・リアル開催 (13:00-15:50 のみ ZOOM 中継有)

参加申し込み方法

締切 2023年2月28日(火)

Peatix から事前申込 200 名で受付終了

参加費:会員 1000 円 一般 1500 円 学生 無料 (対面・オンライン 同一)

お問合せ:関西ベンチャー学会 事務局 西森

569-1199 大阪府高槻市別所新町 4-1 日本郵便高槻支店留

E-mail: info@kansai-venture.org TEL/FAX: 072-688-7277

※会場には駐車場はありません。電車またはコイン駐車場をご利用ください。(阪神電車 鳴尾・武庫川女子大前駅から徒歩5分)

申し込みは Peatix から



https://peatix.com/event/3455747/view

会員研究発表

第1会場 〈企業戦略〉

座長:釣島 平三郎(太成学院大学)

■ スポーツウェア企業の成長プロセスと 経営戦略に関する考察

―ゴールドウインの事例―

発表者:畑中 艶子(国際ファッション専門職大学)

コメンテーター: 木本 圭一(関西学院大学)

■ 三井物産のコーディネーション 一三国間貿易と投資・企画戦略-

発表者:武居 奈緒子(摂南大学)

コメンテーター: 奥田 浩二(桃山学院大学)

■ 非上場企業に対して「ESG 課題への取り組み」を

要請する要因についての考察

発表者: 岡崎 利美(追手門学院大学) コメンテーター: 林茂樹(大阪工業大学)

第2会場 <組織・政策>

座長: 文能 照之(近畿大学)

■ 組織統合に伴うコンフリクトへの対処プロセス 一従業員の心理的問題の改善と それによって生じる対話一

発表者: 村上 泰市郎(大阪市立大学大学院(院)) コメンテーター:福井誠(武庫川女子大学)

■ 参加型マネジメントによる職場環境改善と 勤務継続意志

発表者:山田 眞佐美(立命館大学大学院((院))

名取 隆(立命館大学大学院)

コメンテーター:丸山 一芳(京都橘大学)

■ 自治体の中小企業イノベーション促進政策の効果 - 「大阪トップランナー育成事業」 認定企業への 質問票調査から一

発表者:松平好人(琉球大学)

名取 隆(立命館大学大学院)

大谷 隆児((株)Space Power Technologies)

コメンテーター: 飛河 智生(帝塚山学院大学)

第3会場 <地域創生>

座長:小两一彦(兵庫県立大学)

■ 過疎地域の活性化に関する一考察

発表者: 野長瀬 裕二(摂南大学)

コメンテーター: 天野 了一(四天王寺大学)

■ 但馬地域におけるリカレント教育の研究と実践 発表者:福嶋幸太郎(芸術文化観光専門職大学)

コメンテーター: 木谷 哲夫(京都大学)

■ イノベーションで地元活性を目指す 老舗ベンチャー企業とのインターンシップ

発表者: 庄司 一也(帝京平成大学) コメンテーター:深見環(四天王寺大学)

大会 スケジュール

受付開始(地下ホール) 12:30~

13:00 - 13:05 開会挨拶 関西ベンチャー学会会長 定藤繁樹

開催校挨拶 武庫川女子大学 経営学部長・教授 福井誠 13:05 - 13:10

キーノートスピーカー講演 プロアシスト(株)生駒京子氏 13:10 - 14:10

14:10 - 14:20 休憩

パネルディスカッション 14:20 - 15:50

司会進行:大会実行委員長 四天王寺大学教授 天野 了一



15:50 - 16:00 休憩

16:00 - 17:30

会員研究発表(7F教室)

17:35 - 18:00

年次総会(※会員のみ)

名刺交換会(7Fロビー) 18:00 - 18:30

Flora(株) CEO アンナ・クレシェンコ 氏 / 近畿経済産業局 2025NEXT 関西 石原 康行 氏 /さくらインターネット(株) 代表取締役社長 田中 邦裕 氏 /東京理科大学 教授 柿原 正郎 氏

スピーカー・パネラー・コーディネーター略歴

■ キーノートスピーチ:生駒 京子

(株)プロアシスト 代表取締役社長、関西経済同友会代表幹事

大学卒業後、大手ソフトウエア会社勤務、専業主婦を経て1994年に有限会社プロア シストを設立。2001 年 株式会社に改組。経済産業省「ダイバーシティ経営企業 100 選し、内閣府「女性のチャレンジ賞特別部門賞」などを受賞。現在、関西経済同友会代表 幹事、大阪商工会議所一号議員、大阪産業局理事、日本WHO協会理事、生産技術振興 協会理事、大阪大学 招聘教授なども務める。

■ パネラー:アンナ・クレシェンコ Flora(株) CEO

ウクライナ国立オデッサ大学の国際関係学部を卒業。2017年に文部科学省の奨学 金を受賞し来日。2022年に京都大学法学部卒業し、京都大学経営管理大学院に入学。 2020 年に S&R Foundation に選抜され、Kingfisher Leadership Program でシリコンバ レーに渡航。身近な人の妊娠うつ発症により、女性の体とメンタルケアを目的に Flora を日本で創業。2022年関西財界セミナーの輝く女性賞を受賞。同年に京都府総合計画 策定検討委員会の委員に就任。

■ パネラー: 石原 康之 近畿経済産業局 2025NEXT 関西

経済産業省近畿経済産業局において、情報政策課長・企画課長・次世代産業課長・ クリエイティブ産業担当参事官として施策企画等を担当し、中小企業政策等を担当す る産業部次長・万博や未来企画を担当する総務企画部次長及び 2025 N E X T 関西企 画室長を歴任。現在、万博の開催パワーを活用した地域振興やイノベーション創出を 提唱した「拡張万博概念」を各地で啓発すると共に、自主活動として未来ビジネスにつ いて発想するMIRAIDEA研究所活動を展開し、各所で最近の新ビジネスの発想の視点、 2025年に向けたアクション等について、様々な企業の方々と意見交換を重ねている。

■ パネラー:田中 邦裕

さくらインターネット(株)代表取締役社長

1978年大阪生まれ。1996年舞鶴高専在学中にさくらインターネットを創業。2005 年に27歳で上場し、現在はプライム市場。元々はエンジニアでありながらも、自らの 起業経験などを生かし、IPA 未踏プロジェクトマネジャーや多数のスタートアップ企 業のメンター等を担い、後進の起業家や学生エンジニアの育成も支援。最近は、『神山 まるごと高専』の理事として、高専の新設にも関わっている。また、関西経済同友会常 任幹事・ソフトウェア協会会長・日本データセンター協会理事長・IPA 未踏のプロジェ クトマネージャーなどを担い、日本の DX を支える幅広い分野で活動する。

■ コーディネーター: 柿原 正郎 東京理科大学 教授

東京理科大学経営学部国際デザイン経営学科(IDM)教授。専門は経営情報システム とデジタルマーケティング。東京理科大学着任前は、Google の東京オフィスとシンガ ポールオフィス、Yahoo! Japan の基礎研究部門 (Yahoo! Japan 研究所) の研究員、関西 学院大学商学部准教授、シンガポール経営大学特任教員などを歴任。デジタル環境下 の消費者行動やユーザー行動の理解に課題を抱えているさまざまな企業と共同研究 プロジェクトやアドバイザリー業務も行っている。

■ 司会進行: 天野 了一 大会実行委員長 四天王寺大学教授

関西経済連合会、IIS 新事業創出機構、関西文化学術研究都市推進機構・新産業創出交流センターに て、数多くの産学連携・ベンチャー支援に携わり、2012年より現職。2022年より、藤井寺市にて、 「チャレンヂ・パーク De La Shula」を設置運営、地域と連携した若者の起業支援に取り組んでいる。

